

第10回 宮崎県中部流砂系検討委員会

～ これまでの委員会等における検討経緯 ～

令和7年3月26日
国土交通省 宮崎河川国道事務所



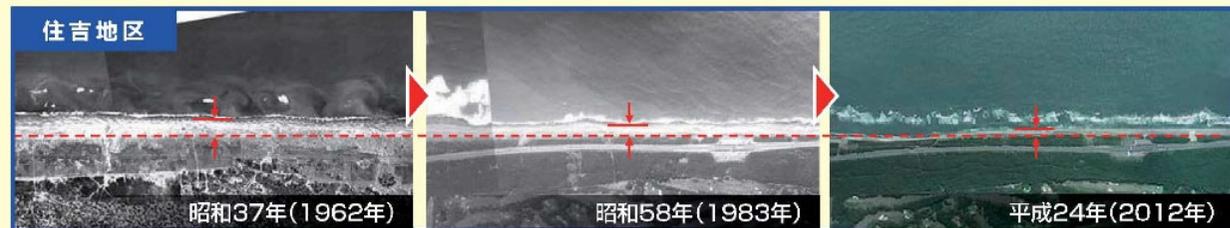
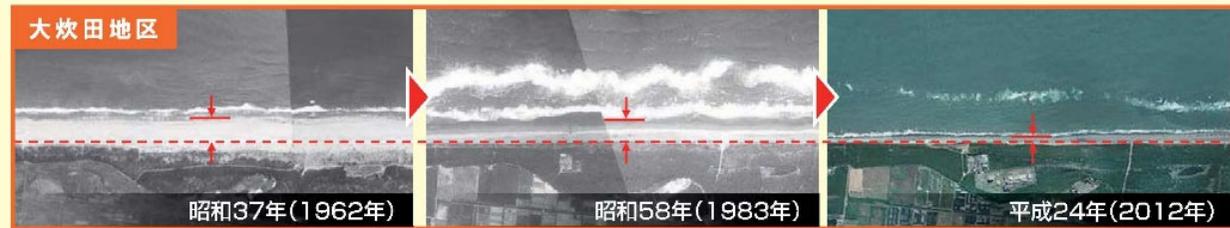
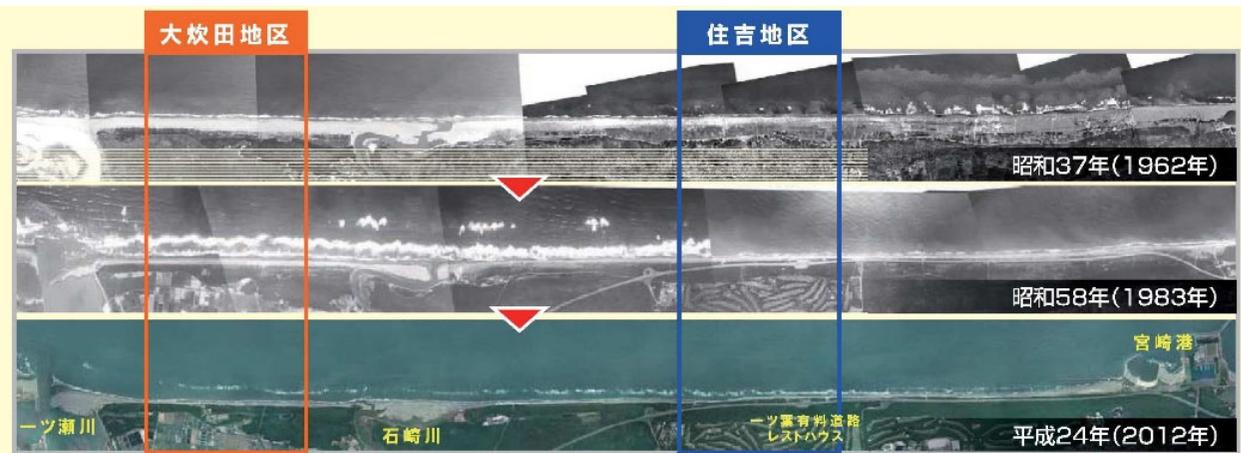
これまでの委員会等における検討経緯

1. 宮崎県中部流砂系検討委員会の目的
2. 宮崎県中部流砂系検討委員会の検討内容
3. 検討委員会の検討経緯・成果

1. 宮崎県中部流砂系検討委員会の目的

○かつて直線の砂浜が続いていた一ツ瀬川～宮崎港間の海岸は、昭和50年代頃より海岸侵食が顕著になっている。この要因は、短期的には高波浪の影響があるが、長期的にはダム建設等により海岸に供給される土砂量が減少したこと等が挙げられる。

○このような状況を踏まえ、宮崎県中部の大淀川～耳川間の河川流域及びこれらに面した海岸における土砂に関する様々な課題を明らかにするとともに、これらの解決に向けた総合的な取り組み及び特に山地から河川における改善策や目標を検討することを目的とする「宮崎県中部流砂系検討委員会」が平成19年10月に設立。



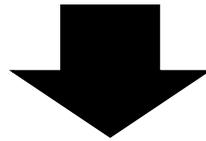
県管理ダム	九州電力管理ダム	九州農政局管理ダム	土地改良区ダム	流域界
(Symbol)	(Symbol)	(Symbol)	(Symbol)	(Symbol)

宮崎県中部流砂系：大淀川、一ツ瀬川、小丸川、耳川間の河川流域及びこれらに面した海岸を含んだ土砂の移動領域。

2. 宮崎県中部流砂系検討委員会の検討内容

- ① 対象は、大淀川～耳川間の河川流域及びこれらに面した海岸とする。
- ② 対象地域における土砂に関する課題の整理に関すること。
- ③ 対象地域のうち、特に山地から河川における土砂環境の改善に向けた諸調査・検討に関すること。

- 1) 目標及び対策を検討するうえで必要となるメカニズムに関する諸調査・検討
- 2) 土砂環境の改善に向けた配慮事項の検討
- 3) 総合的な取り組み及び目標・改善策の提案



流砂系改善に向けた対応策の提案、実行へ向けた取り組みへと展開

3. 検討委員会の検討経緯・成果

		検討経緯	項目	
第1回	平成19年 10月18日	流砂系全体の課題認識の共有 課題に対する取り組み内容の共有	中部流砂系検討委員会（案）の設立趣旨 大淀川・小丸川等流砂系の概要 流砂系の現状と課題、流砂系の変遷（I R） 流砂系改善へ向けたこれからの取り組み	
第2回	平成20年 3月27日		流砂系の現状と課題（関係機関データの追加） 課題解決の方向性	
第3回	平成21年 3月23日	総合土砂管理の検討の方向性の合意 （あるべき姿、土砂管理の目標、土砂管理の視点）	インパクト・レスポンスについて 宮崎県中部流砂系の土砂管理の目標 あるべき姿と目標実現に向けた土砂管理の視点 土砂管理の目標に対する具体的な改善の方向性	
第4回	平成22年 3月24日		総合的な土砂管理の取組、連携方針 小丸川における置砂の試験施工 宮崎県中部流砂系改善行動計画の策定に向けて	
第5回	平成23年 12月20日	小丸川を対象とした検討状況の合意 （基礎情報の充実（現地調査、置砂試験等）、 流砂系の土砂収支に係る詳細検討の必要性）	改善行動計画検討の流れ 調査の状況および土砂動態の整理 小丸川における置砂の試験施工の報告 当面の検討内容	
第6回	平成25年 2月22日		インパクト・レスポンス関係（構図）の提示 総合土砂管理計画の策定方針と現在の状況	
第7回	平成27年 3月10日		小丸川の河川環境改善目標の設定（案） 小丸川土砂収支の検討状況報告 土砂管理対策（案）の検討状況	
第8回	平成28年 3月17日	土砂収支および土砂動態を踏まえた 現状と課題の構図、具体的な土砂管理目標、 土砂管理対策メニュー、モニタリング内容	小丸川水系総合土砂 管理計画（素案）	環境改善目標 土砂収支、土砂管理目標
第9回	平成31年 3月17日		小丸川水系総合土砂 管理計画（原案）	土砂管理対策メニュー モニタリング

令和元年9月 小丸川水系総合土砂管理計画策定・公表

3. 検討委員会の検討経緯・成果

